



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
コード番号 4761 URL <http://www.kcs.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岸川 和久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 山本 修嗣

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 078-391-6571

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,149	5.5	57	—	121	—	△5	—
24年3月期第3四半期	13,408	0.6	△164	—	△116	—	△83	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △88百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△0.45	—
24年3月期第3四半期	△7.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,571	13,690	77.9
24年3月期	18,692	13,912	74.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 13,690百万円 24年3月期 13,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	1.9	480	16.9	550	19.2	270	36.3	24.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
業績予想の修正内容につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	11,200,000 株	24年3月期	11,200,000 株
25年3月期3Q	494 株	24年3月期	494 株
25年3月期3Q	11,199,506 株	24年3月期3Q	11,199,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当企業集団」という。）の当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、自治体向けのシステム機器販売、及び、金融機関・一般法人向けシステム構築業務が、引き続き堅調に推移したことから、売上高は14,149百万円と前年同四半期比740百万円（5.5%）の増収となりました。

また、損益面につきましても、増収効果に加えて、要員稼働状況改善などによる原価率改善を主因として、営業利益は57百万円と前年同四半期比221百万円の増益、経常利益も121百万円と前年同四半期比237百万円の増益となりました。また、四半期純損失につきましては、「マイキャリアプラン（転進支援型早期退職制度）」実施に伴う加算退職金などの費用を特別損失に計上したことから、5百万円と前年同四半期比78百万円の増益にとどまっております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループ及び地域金融機関向けシステム構築業務が引き続き堅調に推移したことを主因として、売上高は4,075百万円と前年同四半期比319百万円（8.5%）の増収となりました。

② 公共関連部門

自治体向けのシステム機器販売が好調だったことを主因として、売上高は3,288百万円と前年同四半期比318百万円（10.7%）の増収となりました。

③ 産業関連部門

システム運用管理業務及びシステム機器販売が減少しましたが、関西地区における一般法人向けシステム構築業務が増加したことから、売上高は6,785百万円と前年同四半期比102百万円（1.5%）の増収となりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比1,121百万円減少して17,571百万円に、純資産も前連結会計年度末比222百万円減少して13,690百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.5%増加して77.9%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向などを踏まえ、平成24年10月31日に発表いたしました平成25年3月期通期の連結業績予想につきまして、次のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,700	550	600	320	28.57
今回発表予想 (B)	21,000	480	550	270	24.10
増減額 (B-A)	△700	△70	△50	△50	
増減率 (%)	△3.2	△12.7	△8.3	△15.6	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	20,616	410	461	198	17.68

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506	3,023
受取手形及び売掛金	5,366	2,888
有価証券	3,300	3,300
商品	180	298
仕掛品	319	1,030
貯蔵品	40	217
その他	1,039	891
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	12,744	11,643
固定資産		
有形固定資産	3,336	3,362
無形固定資産	459	437
投資その他の資産		
投資有価証券	1,384	1,277
その他	776	898
貸倒引当金	△8	△47
投資その他の資産合計	2,152	2,128
固定資産合計	5,948	5,927
資産合計	18,692	17,571
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,872	1,080
未払法人税等	34	12
賞与引当金	673	381
受注損失引当金	—	17
その他	1,060	1,089
流動負債合計	3,640	2,580
固定負債		
退職給付引当金	279	395
役員退職慰労引当金	93	87
資産除去債務	10	—
その他	755	817
固定負債合計	1,138	1,299
負債合計	4,779	3,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,536	9,397
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,820	13,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	9
その他の包括利益累計額合計	92	9
純資産合計	13,912	13,690
負債純資産合計	18,692	17,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	13,408	14,149
売上原価	11,056	11,505
売上総利益	2,351	2,643
販売費及び一般管理費	2,516	2,586
営業利益又は営業損失(△)	△164	57
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	21	28
不動産賃貸料	53	47
保険配当金	14	9
雑収入	14	31
営業外収益合計	108	121
営業外費用		
支払利息	25	22
不動産賃貸費用	29	26
雑損失	5	8
営業外費用合計	60	57
経常利益又は経常損失(△)	△116	121
特別損失		
固定資産除売却損	164	—
減損損失	1	—
投資有価証券評価損	0	—
会員権評価損	—	45
特別退職金	44	71
特別損失合計	210	116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△326	4
法人税等	△242	9
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	△5
四半期純損失(△)	△83	△5

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	△5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△82
その他の包括利益合計	△13	△82
四半期包括利益	△97	△88
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	△88

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,756	2,969	6,683	13,408	—	13,408	—	13,408
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	40	538	587	—	587	△587	—
計	3,764	3,010	7,221	13,996	—	13,996	△587	13,408
セグメント利益又は損失(△)	662	239	390	1,292	—	1,292	△1,456	△164

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,456百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,075	3,288	6,785	14,149	—	14,149	—	14,149
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	23	523	547	—	547	△547	—
計	4,077	3,311	7,308	14,697	—	14,697	△547	14,149
セグメント利益	745	169	582	1,497	—	1,497	△1,439	57

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,439百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。